

新たな上州地鶏の能力と特徴

研究のねらい

上州地鶏は、その前身の風雷どりから20年以上の歴史を持つ本県独自のブランド鶏ですが、消費ニーズの変化等により首都圏における産地間競争で苦戦を強いられ、特に体重が軽く産肉量が少ないことが喫緊の課題となっていました。

このため、長年にわたる地鶏研究の取り組みで得られた知見をもとに、新たな交配様式に変更することで大幅な大型化を図り、国内最大級の有色羽装シャモ系地鶏にモデルチェンジしました。

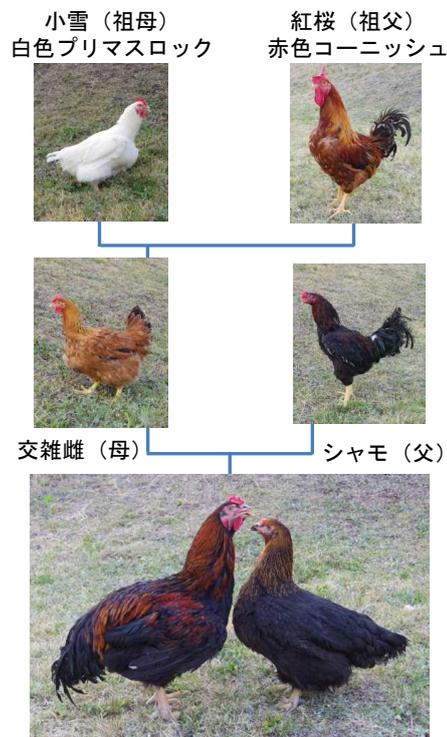


図1 新たな上州地鶏の交配様式

技術の特徴

- 1 父系にはシャモ（軍鶏）を使用し（シャモは昔から県内でも飼養され肉質に優れている）、母系には肉質に定評があり発育に優れる国産鶏種の紅桜（赤色コーニッシュ）と小雪（白色プリマスロック）との交配した交雑雌を使用します（図1）。
- 2 14週齢時成績では雌雄平均で旧交配様式に比較し、体重が約1.1kg以上大きくなります（図2）。
- 3 旧交配様式に比較し栄養価の低い飼料でも良好な発育が得られるので、飼料費は減少します（図3）。

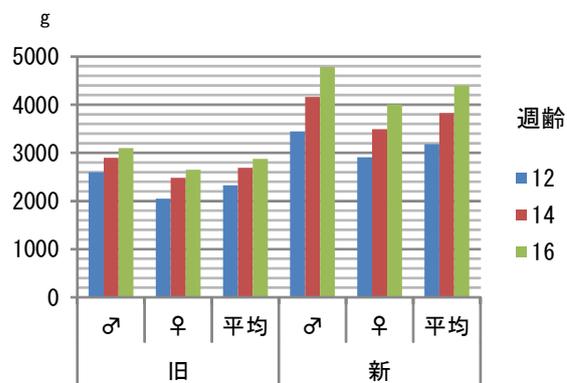


図2 体重

今後の取り組み

今後は、梅酢や桑の葉粉末を飼料添加することで地域性を加味した地鶏肉生産を継続します。

また、種鶏の段階から低コスト化を図るため、効率的な種鶏の飼養管理技術の開発に取り組めます。（執筆者：後藤 美津夫）

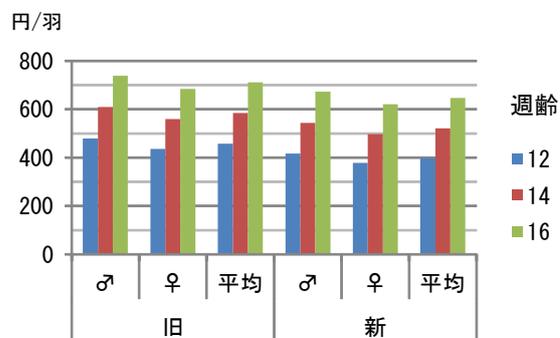


図3 飼料費

連絡先：畜産試験場 養鶏係（電話027-288-2222）